

令和7年度(第79回)国民スポーツ大会剣道競技宮城県予選会 成年男子・成年女子の部大会要項

- 1 主催 宮城県 宮城県教育委員会 公益財団法人宮城県スポーツ協会
宮城県高等学校体育連盟・宮城県中学校体育連盟
- 2 主管 一般財団法人宮城県剣道連盟
- 3 期日 令和7年4月20日(日)午前9時00分開会
- 4 会場 宮城県第二総合運動場(宮城県武道館)
仙台市太白区根岸町15-1 電話 022-249-1216
- 5 参加資格 (1) 日本国籍を有していること。
(2) 選手は本県剣道連盟に令和7年3月30日以前から引き続き所属している者であること。
(3) 成年男子の部25歳未満, 成年女子の部30歳未満に参加する選手は, 平成19年4月1日以前に生まれた者で, その所属は, 県内の居住地又は勤務地の何れかとする。大学生は県内の大学に在学している者, 県内の高等学校, 中学校, 小学校を卒業した者とする。
(4) 年齢の区分別起算は令和7年4月1日を基準とし, 成年男子の部25歳未満, 25歳以上, 35歳以上, 45歳以上, 55歳以上とする。成年女子の部は, 30歳未満, 40歳未満, 40歳以上とする。但し, 成年男子の部55歳以上と成年女子の部40歳以上は,
【(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認剣道コーチ1, 公認剣道コーチ2のいずれかの資格を有する者】
- 6 参加料 一人1,000円とし, 大会当日受付にて納入すること。
- 7 竹刀検量 検量を行う。(別紙参照のこと。)
- 8 試合方法 (1) 全日本剣道連盟の剣道試合・審判規則と同細則, 運営要領の手引きおよび感染拡大予防ガイドラインに記載の試合方法による。
(2) 年齢区分別にトーナメント方式とする。参加人数によりリーグ方式とする場合もある。試合時間は5分, 3本勝負とする。勝負の決しない場合は延長戦を行い, 先に1本取った者を勝ちとする。なお, 延長に入ってから試合時間は, 3分区切りで行う。
- 9 日程 (1) 受付・開館 8:00～ (4) 試合
(2) 審判会議 8:30～ (5) 閉会式
(3) 開会式 9:00～

- 10 表 彰 第1位から第3位まで表彰する。
- 11 申込方法 所定の申込書に記入し、市郡連ごと下記の宛先に送付すること。
(一財)宮城県剣道連盟事務局宛
〒982-0845 仙台市太白区門前町 2-1
Tel022 - 746 - 8461 Fax022 - 746 - 8462
メール info@miyagi-kendo.com
- 12 申込期日 令和7年4月11日(金) 必着
- 13 その他 (1) 災害・事故の場合、実施本部で応急処置をするが、他の責任は持たない。
(2) 出場選手は、感染拡大予防ガイドラインに従い鼻と口を確実に覆う面マスク又は口元を覆うシールドを着用すること。
(3) 別紙「剣道用具確認証」を竹刀検査時に提出すること。
(4) 今後の感染症の状況により、大会が中止又は試合方法が変更になることを承知の上、参加すること。
(5) 提出書類は宮城県剣道連盟HPからダウンロードすること。
(6) 参加選手は、紅白の目印(全長70cm幅5cm)を持参すること。
(7) 参加選手は、市郡名もしくは所属名(横書き)と姓(縦書き)を記した布製の名札を垂につけること。
(8) 組み合わせは県剣道連盟事務局で行う。
(9) 本大会の結果は、国民スポーツ大会の選手選考の参考とする。
(10) 個人情報は、大会の目的以外に使用しない。

令和7年度（第79回）国民体育大会剣道競技 宮城県予選会 成年男子・成年女子の部 申込書

成年男子 25歳未満 25歳以上 35歳以上 45歳以上 55歳以上
 成年女子 30歳未満 40歳未満 40歳以上

※成年男子の部55歳以上と成年女子の部40歳以上は【(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認剣道コーチ 1.公認剣道コーチ 2.のいずれかの資格を有する者】

No.	段位	ふりがな 氏名	性別	生年月日 (年齢)	年齢区分	職業 (学校名)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

以上 名分 申し込みます。
 令和 年 月 日

市(区)郡剣道連盟

令和7年4月11日(金)必着

審判主任	試合場主任	検査所責任者

剣道用具確認証

一般財団法人宮城県剣道連盟会長 殿

本大会の出場にあたり、使用する用具について、「剣道試合・審判規則」および「大会要項」に即し、下記項目の確認いたしました。

日付： 年 月 日

所 属： _____

選手氏名： _____ 印

記

1) 竹刀関連：検査本数：合計 _____ 本（大会検査所提出本数）

- 竹刀の長さ（全長）が適正
- 竹刀の重さが適正
- 竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正
- 先から 8cm 部分のちくとう部の太さ（対角）が適正
- 先革の長さが適正
- 中結の位置（＝全長の約 1/4）が適正
- 各ピース（竹）の間の隙間がない
- 破損・ささくれはない
- 不当な付属品を使用していない
- 安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない

2) 小手関連

- こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部））の 1/2 以上 を保護している
- 小手ふとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ふとん部最長部との差が 2.5cm 以内である
- 小手頭部・小手ふとん部の衝撃緩衝能力がある

3) 面関連

- 肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている
- 面ふとん部の衝撃緩衝能力がある

4) 剣道着関連

- 袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

以上